

2009年度 エコノメトリックスII&上級エコノメトリックスII

第3回宿題解答例

2009年11月6日

Q. 2.10

まず $P \equiv X(W'X)^{-1}W'$ がべき等行列 (idempotent matrix) であることを示す。

$$PP = X(W'X)^{-1}W'X(W'X)^{-1}W' = X(W'X)^{-1}W' = P$$

しかし、

$$P' = W(X'W)^{-1}X'$$

であるので、 $S(X) \neq S(W)$ という仮定から $X \neq W$ 。よって P は対称行列ではない。

次に P によって射影される空間を考える。いま n 次元の任意のベクトル y があるとき、 P による写像は、 $b \equiv (W'X)^{-1}W'y$ とおくと、

$$Py = X(W'X)^{-1}W'y = Xb$$

で表されるから、 $S(X)$ 上にある。加えて、もし $y \in S(X)$ であれば、 $y = X\beta$ と表すことができるから、

$$Py = X(W'X)^{-1}W'X\beta = y$$

となって P の写像はすべて $S(X)$ 上にある。

さて、 $I - P$ によって射影される空間を考えよう。 n 次元の任意のベクトル u があるとき、 $I - P$ による写像は $(I - P)u$ となるが、

$$W'(I - P)u = (W' - W'X(W'X)^{-1}W')u = (W' - W')u = 0$$

が成立するので、 $S^\perp(W)$ 上にある。また $v \in S^\perp(W)$ となる n 次元の任意のベクトル v があるとき、 $W'v = 0$ が成立するから、 $(I - P)$ による写像は

$$(I - P)v = v - X(W'X)^{-1}W'v = v - v = 0$$

となって、 $S^\perp(W)$ 上にある。題意より $S(X) \neq S(W)$ であるから、 $S(X)$ と $S^\perp(W)$ は直交しない。

Q. 2.12

$z \in \mathcal{S}(X)$ となる任意のベクトル z は、 $b \in \mathcal{R}$ であるベクトル b を用いると、

$$z = Xb$$

と表現することができる。ところで、 $P_X X = X$ であるから、

$$z = P_X Xb$$

となるが、 $M_X P_X = O$ であることを用いると

$$M_X z = M_X P_X Xb = 0$$

よって z は、 M_X によって消滅する (annihilate)。次に、 $w \in \mathcal{S}^\perp(X)$ となる任意のベクトル w は、 $w'z = 0$ を満たしているから、 $P_X X = X$ であることを使うと、

$$w'z = w'Xb = w'P_X Xb = 0$$

と表すことができる。よって

$$P_X w = 0$$

ゆえに w は、 P_X によって消滅する (annihilate)。